

化学物質等安全データシート(1)

製品名	GHS分類					応急措置	保管
	危険有害性	危険有害性区分	絵表示	注意喚起語	危険有害性情報		
アルゴンガス (Ar)	高圧ガス	環境に影響なし	ガスボンベ	警告	高圧ガスとしての危険性、高温にさらされると破裂の恐れ。	吸入した場合：新鮮な空気に移し、衣服をゆるめ毛布などで暖ため安静にさせ、医師の手当てを受ける。目に入った場合：冷却しすぐに医師の手当てを受ける。	日光から遮断し、換気の良い場所で40℃以下に保つこと。火災やスパークから遠ざけ、火の粉等がかからないようにすること。電気配線やアース線の近くに保管しないこと。

製品名	GHS分類					応急措置	保管
	危険有害性	危険有害性区分	絵表示	注意喚起語	危険有害性情報		
WELTIG 316 L・TG 308	急性毒性 皮膚腐食性・刺激性 眼に対する重篤な損傷性・眼刺激性 皮膚感作性、 特定標的臓器・全身毒性(単回暴露)	4 2 2A 1 3	感嘆符	警告	ヒューム・ガス：ヒュームを多量に吸入した時は、金属熱と呼ばれる症状が生じる恐れ。長期間吸入した時は、じん肺になる恐れ。ガスによる中毒を引き起こす恐れ。通風の不十分な場所の溶接作業では、酸素欠乏の危険性がある。有害光線：紫外線による電気性眼炎を起こす恐れ。また赤外線では白内障、網膜の熱損傷などの障害を起こす恐れ。スッパタ・アーク熱：溶接金属、アーク熱等により、やけど、火災を引き起こすことがある。電撃：感電により死に至る恐れ。	ヒューム・ガスによる障害：呼吸困難を起こした場合は、呼吸補助をする。眼の障害：異物が入った場合は、絶対にこすらず、水で洗い流す。痛みを感じる場合は、冷やす。やけど：急いで幹部を冷やす。衣服が燃えた場合は、剥がさずに、衣服の上から冷水をかけて冷やす。酸欠：新鮮な空気中に移す、意識がないか、反応が鈍い場合は、まず気道の確保を行う。気道を確保した状態で、呼吸がない場合は、人工呼吸を行う。さらに脈拍がない場合は心臓マッ	溶接材料は、水に濡らさず多湿な場所は避け、室内に保管する。その際、地面に直接置いたり、壁に直接接触しないようにする。化学反応を起こす恐れのある酸などの化学物質から隔離し、保管する。

製品名	GHS分類					応急措置	保管
	危険有害性	危険有害性区分	絵表示	注意喚起語	危険有害性情報		
KH 洗浄シンナー	引火性液体 急性毒性(経口) 急性毒性(吸入) 皮膚腐食性・刺激性 眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 皮膚感作性、 生殖細胞変異原性 発がん性 生殖毒性 特定標的臓器毒性(単回暴露) 特定標的臓器毒性(単回暴露) 特定標的臓器毒性(単回暴露) 吸飲性呼吸器有害性 水生環境有害性(急性) 水生環境有害性(長期間)	2 4 4 2 2 1 2 2 1A 1 3(気道刺激性) 3(麻酔作用) 1 2 3	炎、健康有害性、感嘆符	危険警告、	引火性の高い液体・蒸気、飲み込むと有害、吸入すると有害、皮膚刺激、アレルギー性皮膚反応を起こす恐れ。遺伝性疾患の恐れ。発がんの恐れ。生殖能又は胎児への悪影響の恐れ。臓器の障害、呼吸器への刺激の恐れ。眠気又はめまい、長期の反復暴露による臓器の障害。飲み込んで気道に侵入すると生命の危険の恐れ。水生生物に毒性。長期継続的影響によって水生生物に有害。非常に燃えやすい液体、蒸気が滞留すると爆発の恐れ。	吸入した場合：新鮮な空気中に移し、呼吸しやすい姿勢で休息する。皮膚等に付着した場合：汚染された衣類を全て取り除き皮膚を水と石鹸でよく洗う。皮膚刺激・発疹が生じた場合は医師の手当てを受ける。目に入った場合：水で数分間注意深く洗う、眼の刺激が続く場合は医師の手当てを受ける。飲み込んだ場合：口をすすぐ、無理に吐かせない、直ちに医師に連絡する。	容器を密閉し、直射日光を避け、冷暗所・換気の良いところに保管する。

化学物質等安全データシート(2)

発行: 2013年10月01日(責任者: 塩沢勝重)

	火災時の措置		漏出時の措置		暴露防止と保護措置		廃棄
	消火方法	消火剤	人体、環境	二次災害防止	設備対策	保護具	
アルゴンガス (Ar)	不燃性ガスなので火災の危険はない。容器が火災にさらされると内圧が上昇、安全装置作動ガスが噴出する。内圧上昇が激しい時は、容器の破裂に至ることもある。周辺の火を消し、風上から水を噴霧して容器を冷却する。容器弁が壊れた時は、容器がロケットのように飛ぶことがある。	水で容器を冷却する。	窒息の危険を防ぐため喚起を良くする。漏洩区域に入る者は、陽圧自給式呼吸器を着用する。空气中の酸素濃度を測定する。環境に対する影響はない。	大量に漏洩が続く状況時は、漏洩区域をロープで囲み外部者が立ち入らないよう周囲を監視。窒息の危険を防ぐため、窓や扉を開講し喚起を良くする、換気設備があれば、速やかに起動し喚起する。	屋内で使用する場合は、酸素濃度が18Vol%未満にならないよう換気、空気より重いので換気扇等を設置し、滞留しないような構造にする。	呼吸器: 空気呼吸器、酸素呼吸器。手の保護: 皮手袋。目の保護: 保護面、保護眼鏡。皮膚及び身体の保護: 特別な保護具はいらない。	容器は勝手に廃棄せず、製造者販売者に渡す。
WELTIG 316L・TG308	火災の状況に適した消火剤を使用し消火する。(個体であり火災の危険はない。)	火災の状況に適した消火剤を使用。	一般的な環境下では、個体であり露出しない。	一般的な環境下では、個体であり露出しない。	屋内溶接では、全体換気装置又はこれと同等以上の装置(局所排気装置、プッシュプル型換気装置など)を設置する。	呼吸器保護: ヒュームやガスを直接吸入しないように、呼吸用保護具を着用する。発生源から頭部をさけ風向きを考えて身体を配置することが望ましい。通風の不十分な場所での溶接/メッキ鋼板/塗装鋼板の溶接では、換気を十分行う。眼の保護: JIST8141に規定されたしや光保護具着用、又必要に応じて周囲にしや光カーテンを設置する。皮膚及び身体の保護: JIST8142規定された溶接用保護面、JIST8113溶接用皮手袋・JIST8101安全靴、安全帽、長袖服、腰カバー等を着用する。	産業廃棄物関連条例などに従い、環境に配慮した適切な方法で処分する。
KH 洗浄シンナー	泡、粉末、炭酸ガス、を使用し消火活動を行う。水は使用してはならない。	粉末消火器、炭酸ガス、乾燥砂。	漏洩した場合は、漏洩物を回収する。その際、適正な保護具を着用する。	排水溝、下水溝、あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ、全ての発火源を取り扱うときの用いる全ての設備は設置する。関係者以外は近づけない。	保管庫はアースをとる。防爆型の電気機器/換気装置/照明機器を使用する。静電気放電に対する予防措置を講ずる。屋外又は換気の良い場所でのみ使用、保護手袋/保護眼鏡/顔面保護具を着用する。	呼吸器の保護: 呼吸用保護具を着用する。手の保護: 保護手袋着用する。目の保護: 保護眼鏡を着用する。皮膚・身体の保護: 保護手袋、保護衣、顔面保護具を着用する。衛生対策: 取扱い後は汚染箇所をよく洗う。製品を使用するときは、飲食又は喫煙をしてはならない。汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯する。	廃棄物は作業廃棄物処理業者と委託契約をして処理する。地面や排水溝へそのまま流さない。